

「一人一人を大切にすゝ指導の充実のために」

～障害の特性の理解とていねいな実態把握に基づいた対応を～

平成25年3月 埼玉県教育委員会

- 今回の「平成24年度 特別支援教育指導資料」（以下、「リーフレット」と記載）は、主に知的障害や自閉症のある児童生徒の指導に携わる教職員を対象にしています。
- 児童生徒の「気になる行動」「止めさせたい行動」をどのように受け止めるか、どう対処するか、などについて考えるヒントとなることを願って作成しました。
- 障害のある児童生徒の指導に携わる経験が長い教職員にとっては、「特性の理解」も「ていねいな実態把握」も、すでにできていることばかりで、「あたりまえ」と思える記述が多いかもしれません。
- 初めて障害のある児童生徒の指導に携わる教職員、経験の浅い教職員の中には、この「リーフレット」にあるような「特性の理解」や「ていねいな実態把握」の考え方を十分には共有できていない場合があるかもしれません。
- 各学校では、この「リーフレット」を活用して校内研修を実施し、児童生徒の「特性の理解」や「ていねいな実態把握」の重要性とその進め方について、全校の教職員が共有できるようにしてください。
- 「校内研修」は、年間研修計画に位置付けられたものだけではありません。短時間であっても、指導の充実のために教職員が学び合う機会を創出する必要があります。
- 全校単位の研修だけでなく、学部・学年・授業担当者などの様々な単位で、この「リーフレット」を活用し、児童生徒の実態把握のしかたや指導の工夫について協議してください。
- この「リーフレット」で紹介した「特性」や「実態把握」は、あくまでも例示的なものです。この「リーフレット」の不足部分を皆で出し合ってみることも意義ある研修の1つです。
- 以下に「リーフレット」を活用した校内研修プランを例示します。90分のプランと30分のプランがあります。各校の実情に応じ、アレンジしてご活用ください。

「一人一人を大切にする指導の充実のために」 ～障害の特性の理解とていねいな実態把握に基づいた対応を～

リーフレットを活用した研修プラン Ver. 1

リーフレット全般を活用した事例研究方式による研修（90分）

【概略】

- 0 趣旨説明（全体進行役が説明） リーフレット・表紙

- 1 子どもの特性の理解について確認する(1)知的障害(2)自閉症（全体進行役が指示）
リーフレット・項目 1

- 2 ていねいな実態把握の方法について確認し（全体進行役が説明）、
各校における事例「気になる行動」について検討する（全体進行役が指示）。
リーフレット・項目 2
(1)具体的事例提供（あらかじめ選出した事例提供者が説明する。）
(2)情報収集（提供された事例に関する質疑応答）
(3)個人での検討（付箋に記入したものを個人用ワークシートで整理しながら、具体策を練る。）
ワークシート①A 4判個人用、付箋、リーフレット・項目 2
(4)グループでの検討（付箋に記入したものをグループ用のワークシートに貼付し整理する。さらに支援策についてグループとして意見をまとめる。）
ワークシート①A 3判グループ用、付箋、マジック、リーフレット・項目 2
(5)シェアリング（各グループの代表者が、グループで検討したことを発表する。）
ワークシート①A 3判グループ用
(6)まとめ（事例提供者が感想を述べる。）

- 3 チームでの対応について（全体進行役が説明） リーフレット・項目 3

- 4 保護者との信頼関係について（全体進行役が説明） リーフレット・項目 4

- 5 指導助言（管理職からの指導助言）

【準備】

リーフレット（人数分）、ワークシート①A 4判個人用（人数分）、ワークシート①A 3判グループ用（A 4判を拡大、グループ数分）、付箋（15枚×人数分）、メモ用紙（各自持参）、メモ用筆記具（各自持参）、グループ協議用ペン（グループ数分）

【進め方の例】

項 目	時間	活 動 の 内 容	留意点等
0 趣旨説明	5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの表紙を読み上げながら、「一人一人を大切にす指導の充実のために」、特性の理解とていねいな実態把握に基づいた対応について研修する旨を説明する。 ・「気になる行動」や「すぐに止めさせたい行動」への対応について、リーフレット表紙のポイント1、ポイント2の重要性を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（全体進行役が説明） ・根本的な解決のために、「なぜそのような行動をしたのか」を考える。 ・適切な行動を増やすと気になる行動は減る。 ・「いつ」、「どこで」、「誰といる時に」、「何をしている時に」→大切な観点
1 子どもの特性の理解	5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット項目2にある、知的障害の子どもの場合と自閉症の子どもの場合についての「視点」「具体的な例」「対応のポイント」を確認する。 ・担任する児童生徒に合致するところがあれば、をマーカー等でチェックする。 	<ul style="list-style-type: none"> （全体進行役が指示） ・担任する児童生徒の特性と対応のポイントについて再確認する機会とする。
2 ていねいな実態把握	5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・「気になる行動」をくり返すA君の場合を例に、基本的な実態把握の流れを確認する。リーフレット項目2。 	<ul style="list-style-type: none"> （全体進行役が説明） ・この後、校内の事例について実際に実態把握及び支援策の検討を行うことを伝える。 ・グループ（4～6人）はできるだけ各学部混合となるよう指示する。 ・各グループの進行役、発表者を決めておくことを指示する。
(1) 「気になる行動」 校内における具体的事例の提供	3 分	<ul style="list-style-type: none"> ・校内における事例について検討する。 ・事例提供者が事例を説明する。 ・いつ、どこで、誰といる時、何をしているとき、どのような行動、どのようなときにおこりやすいか、どんな時にうまくいっているかを簡潔に述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> （事例提供者が説明） ・あらかじめ事例提供者を決めておく。 ・気になる行動は一つに絞る。 ・簡潔に説明する。 ・提供された事項を各自ワークシート①（A4判個人用）に記入する。
(2) 情報の収集	10 分	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の背景を詳しく探るために、質問と回答による情報収集を行う。 ・できるだけ参加者全員が質問をする。 ・各自のメモ用紙に記録。 	<ul style="list-style-type: none"> （全体進行役が進行） ・一問一答。 ・ブレインストーミング。 ・事例提供者の取組等を批判するような発言はしない。
(3) 個人検討	10 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①（A4判個人用）を活用し、得られた情報から背景（付箋に記入）を整理する。 ・仮説（なぜその行動が起こるか）を立 	<ul style="list-style-type: none"> （各個人） ・ワークシート①を活用する。 ・個人で検討したことは、付箋に記入し、この後のグループ協議で活用する。

		<p>てる（付箋に記入）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体策を考える（付箋に記入）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付箋 1 枚に 1 事項記入。 ・ 具体的支援策については、苦手な状況への配慮、支援を考える。 ・ うまくいっている時の状況、本人が得意なこと、好きなこと等を支援のヒントとする。
<p>(4) グループ検討</p> <p>（4～6人程度の小グループ）</p>	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進行役と発表役を決める。 ・ 各々の意見を発表する。 <p>背景、子どもの特性、仮説、支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループとして、具体的な支援策を検討し、ワークシート①（A3判グループ用）にまとめる。 <p>（箇条書き又はキーワードで可）</p>	<p>（各グループ進行役が進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を全員から均等に集める。 <p>※個人での検討で記入した付箋を活用し、全員が一斉にワークシート①（A3判グループ用）に貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員の付箋（意見）を分類し、共通理解を図る。 ・ 出された意見に対しての批判は厳禁とする。
(5) シェアリング	13分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループ代表がワークシート①（A3判グループ用）を提示しながら、全体的場で、検討したことを簡潔に発表する。 	<p>（全体進行役が進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援策は具体的で実行可能なものか。 ・ 支援策はスモールステップになっているか。 ・ 各グループで作成したワークシートについては、資料として活用できるように保管場所を共通理解しておく。
(6) まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループからの発表について、事例提供者が感想を述べる。 	（事例提供者）
3チームでの対応	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーフレット項目3「一人で抱え込まず、チームで対応」を読む。 	（全体進行役が説明）
4 保護者との信頼関係	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーフレット項目4「保護者との信頼関係づくり」について、説明を聞いて確認する。 	<p>（全体進行役が説明）</p> <p>「気になる行動」への対処のみを話し合うのではなく、その背景を探る視点を共有することが重要。</p> <p>「努力していること」、「できること」、「とくいなこと」、「好きなこと」、を随時保護者に伝え成長を共有する。</p>
5 指導助言	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職からの指導助言 	

計 90分

「一人一人を大切に作る指導の充実のために」
～障害の特性の理解とていねいな実態把握に基づいた対応を～

リーフレットを活用した研修プラン Ver. 2 【部分活用の例】

リーフレット項目2「ていねいな実態把握」を活用したミニ研修（30分）

ワークシート②を活用し、例示されたA君の「気になる行動」の“背景”を探る。そして、具体的な支援策を検討する際のポイントを確認する。

【概略】

- 1 趣旨説明（全体進行役が説明する。） リーフレット・項目2
- 2 個人検討（1）（リーフレットとワークシートを黙読する。）
リーフレット・項目2、ワークシート②
- 3 個人検討（2）（ワークシートの空欄部分へ記入する。） ワークシート②
- 4 グループ検討（各自が記入した内容をグループ内で発表し合う。） ワークシート②
- 5 シェアリング（各グループの検討内容を共有する。）
- 6 まとめ（記入例を参考にポイントを確認する。） ワークシート②記入例
- （7 指導助言）

【準備】

リーフレット、筆記具、ワークシート②（一人1枚）

【進め方の例】

項 目	時間	活 動 の 内 容	留意点等
1 趣旨説明	1分	・研修の目的や流れについて説明。	（全体進行役）
2 個人検討(1)	3分	・リーフレットとワークシート②を黙読。	・リーフレット項目2「ていねいな実態把握」を中心に参照。
3 個人検討(2)	10分	・ワークシート②の空欄部分(ア)(イ)(ウ)(エ)を各自検討し、記入する。	・ワークシートの空欄部分に、できるだけ具体的に記述する。
4 グループ検討	10分	・4～6人程度のグループを編成する。 ・ワークシート②に各自が記入した内容について、グループ内で発表し合い、検討。	・学級担任等のチームを単位とする。 ・他者の意見を批判しない。 ・できるだけ多様な意見を出し合う。
5 シェアリング	3分	・各グループで検討した内容を発表し合う。	・時間が限られているので、2～3グループが代表して発表する。
6 まとめ	2分	・ワークシート【記入例】を配布し、それも参考に、具体的な支援策を検討する際のポイントを確認する。	・“背景”を探ることと特性を理解することが、具体的な支援策の検討に不可欠であることを確認。
（7 指導助言）	1分	（・管理職等からの指導助言。）	（可能な場合に）

計 30 分

「一人一人を大切に作る指導の充実のために」
～障害の特性の理解とていねいな実態把握に基づいた対応を～

リーフレットを活用した研修プラン Ver.3 【部分活用の例】

リーフレット項目1「児童生徒の特性の理解」を活用したミニ研修（30分）

ワークシート③を活用し、普段関わる児童生徒について特性を理解し、対応のポイントを確認する。

【概略】

- 1 趣旨説明（全体進行役が説明）
- 2 個人検討（表中にアンダーラインを記入） リーフレット・項目1
- 3 全体確認（挙手の多い項目について対応のポイントを確認する。） リーフレット・項目1
- 4 個人作業（最も気になる行動を各々が付箋に記入する。） 付箋
- 5 グループ検討（記入したことについて各々が説明する。） ワークシート③
- 6 個人作業（対応のポイントを考える。） 付箋
- 7 グループ検討（すぐの実施できそうなことを確認する。）

【準備】

リーフレット、筆記具、ワークシート③、付箋（5枚位×人数分）

【進め方の例】

項 目	時間	活 動 の 内 容	留 意 点 等
1 趣旨説明	1分	・研修の目的や流れについて説明。	（全体進行役）
2 個人作業	3分	・自分たちが関わる児童生徒について、表中のあてはまる項目に、アンダーラインを記入する。	・リーフレット項目1「児童生徒の特性の理解」を参照。
3 全体確認	3分	・アンダーラインを記入した項目を、挙手により確認する。 ・対応のポイントを確認する。	（全体進行役） ・表中の視点ごとに確認。 ・挙手の多かった項目について対応のポイントを読み上げる。
4 個人作業	3分	・アンダーラインを記入した項目の中で最も気になる行動を各々が一つ付箋に記入する。	・この後のグループ検討で使用する旨伝える。
5 グループ検討	8分	・4～6人程度のグループを編成する。 ・記入した付箋をワークシート③に貼付する。 ・記入したことについて各々説明をする。	・学級担任等のチームを単位とする。 ・グループ毎、一斉に貼付する。 ・似た内容は付箋をまとめて配置する。
6 個人作業	3分	・対応のポイントを考え付箋に記入する。	・各々がそれぞれの具体例について対応のポイントを記入する。
7 グループ検討	9分	・各々が記入した付箋をワークシート③に貼付。 ・各々簡単に説明をする。 ・すぐに行きそうなることを確認し合う。	・一斉に貼付する。 ・明日から取り組むこととする。

計 30 分

「一人一人を大切に作る指導の充実のために」
～障害の特性の理解とていねいな実態把握に基づいた対応を～

リーフレットを活用した研修プラン Ver. 4 【部分活用の例】

リーフレット項目2「ていねいな実態把握」を活用したミニ研修（30分）

ワークシート①を活用し、普段関わる児童生徒の「気になる行動」の背景を探ることに重点をおいた。

【概略】

- 1 趣旨説明（全体進行役が説明）
- 2 グループ検討（児童生徒の気になる行動についてワークシートに記入する。）
- 3 個人作業（気になる行動の背景を記入する。） 付箋
- 4 グループ検討（記入したことについて各々説明。）
- 5 シェアリング（各グループの検討内容を共有する。）
- （6 指導助言）

リーフレット・項目2、ワークシート①A3判

【準備】

リーフレット、筆記具、ワークシート①A3判（グループ毎に1枚）、付箋、筆記具

【進め方の例】

項目	時間	活動の内容	留意点等
1 趣旨説明	1分	・研修の目的や流れについて説明。	（全体進行役）
2 グループ検討	5分	・4～6人程度のグループを編成する。 ・1名の児童または生徒について「気になる行動」「いつ」「どこで」「誰といるとき・何をしている時」「気になる行動が見られない時」までをグループで確認する。 ・ワークシートへ記入する。	・学級担任等のチームを単位とする。 ・グループ内で関わる児童または生徒についてとりあげる。 ・リーフレット項目2「ていねいな実態把握」を参照。 ・ワークシート①A3判（グループ毎に1枚）を使用。
3 個人作業	3分	・「気になる行動」の背景について各々が付箋に記入する。	・付箋1枚に1事項を記入する。
4 グループ検討	10分	・記入した付箋をワークシートへ貼付する。 ・各々が推測する背景について説明する。 ・共通点があれば確認し、簡単にまとめる。	・グループ毎、一斉に貼付する。 ・似た内容は付箋をまとめて配置する。 ・まとめたことをワークシートに記入。
5 シェアリング	10分	・各グループの代表が検討内容を発表し、全体で共有する。	・簡潔に発表する。
（6 指導助言）	1分	（・管理職等からの指導助言。）	（可能な場合に）

計 30 分

気になる行動：

〈いつ〉

〈どこで〉

〈気になる行動が見られないのはどんな時〉

〈誰といる時に・何をしている時に〉

行動の背景

1 _____

・
・
・
・

2 _____

・
・
・
・
・

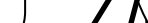
3 _____

・
・
・
・
・

仮説

本人の特性

具体的な支援策



気になる行動 「自分の頭を叩き続ける」

いつ

どこで

誰といる時に
何をしている時に

☆ 気になる行動が見られないのはどんな時？

仮説(例) 「今、何をしたいのかわからない」のでは？

理由 本人の 特性など	聞いて理解することが苦手	語彙の少なさ	注意の集中が苦手
----------------------------	--------------	--------	----------

A君の 状況	(ア)	指示の中にある言葉の意味 がわからない。(例)	(ウ)
-------------------	-----	----------------------------	-----

具体的な 支援策 (例)	(イ)	よりわかりやすい言葉、具体的 な言葉で説明する。(例)	(エ)
-----------------------------	-----	--------------------------------	-----

気になる行動 「自分の頭を叩き続ける」

いつ

どこで

誰といる時に
何をしている時に

☆ 気になる行動が見られないのはどんな時？

仮説(例) 「今、何をしたいのかわからない」のでは？

理由 本人の 特性など	聞いて理解することが苦手	語彙の少なさ	注意の集中が苦手
A君の 状況	教員の話言葉による指示がピンとこない。	指示の中にある言葉の意味がわからない。	教員の話言葉による指示を集中して聞くのが難しい。
具体的な 支援策 (例)	指示の内容を視覚的にも示す。	よりわかりやすい言葉、具体的な言葉で説明する。	指示を出す前に声をかけて、教員に注目させる。 指示は「短く」「具体的に」「一つずつ」

「一人一人を大切にする指導の充実のために」～障害の特性の理解とていねいな実態把握に基づいた対応を～

ワークシート③

具 体 例	対 応 の ポ イ ン ト